

## 運動会の感想

### ～1年生～

- にんじゃとばんばんでは、いっぱいおどったのが、たのしかったです。みんなでいっしょにえんになったのが、たのしかったです。 (坂東 由加理)
- たまいれでゆうしょう。たまいれがたのしかった。ぎゃくてんしてよかった。2ねんせいをぜんりよくでおうえんしました。 (畑中 彪我)
- たまいれがまけそうになりました。きんちょうしました。でも、しろぐみがかってうれしかったです。 (馬野 桃)
- かけっこがたのしかったです。あといっぽで1だったんですが、2だったことがくやしかったです。でも、すごきたのしかったです。うんどうかいで1ばんのおもいです。 (佐々木 岳)

### ～2年生～

- き、き、きのこ、きのこのこのこは、ダンスもうまくできたし、赤にかちました。うれしかったし、たのしかったです。うたもたのしくなるきよくなので、テンションがあがりました。 (平元 里紗)
- うんどうかい。玉いれとダンスがたのしみでほんばんの日がきたときは、すごくうれしくてたまらなくて「やったーうんどうかいだ」と、うきうきわくわく学校へきて、かってやるぞと思いました。 (小林 わか芭)
- かけっこで1いをとりました。1年生のときより2つも上がってうれしかったです。1いになって、テープをぬけるのが気持ちよかったです。これからも、リレーのせん手を目ざしてがんばります。 (永谷 俊明)
- 学えん天ごくをおどりました。人がいっぱいではずかしかったけど、すごきたのしかったです。見てくれる人がニコニコしてるからうれしかったです。 (麻生 嶺羽)

### ～3年生～

- ビクトリーではさいしょの所がリズムに合わせるのが、上手と先生に言われてうれしかったです。トーシンドーイは、リズムに合わせるのがむずかしかったけれども、本番ではリズムに合わせて、きれいにたいこをならせました。 (沼田 萌愛)
- 一番心にのこったのは、短きよりそうです。れんしゅうの時にとれなかった1位がとれたからです。ぼくは少しでもはしるはやさがるように外でいっぱい走りました。弟が1年生のかけっこで1位をすでにとっていたので、ぼくも1位をさらにとりたいと思いました。1位をとって白組に点数を入れられてうれしかったです。 (丸石 瑛大)
- 一番きんちょうした演技はエイサーです。でもれんしゅうの時よりすごく楽しく笑顔でできたと思います。 (小林 巧味)
- にふえーでーびる☆谷戸わらばーの思いをこめての音があっいてよかったと思いました。ビクトリーではハの字踊りがうまくできてとてもうれしかったです。とうしんどーいはテンポが速く、練習ではとまどっていたけれど、本番ではテンポがあいました。 (菅谷 優菜)

### ～4年生～

- 今年の運動会はぼくにとって4年目で、なれていましたが、いがいときんちょうしていました。すべてのきょうぎを全力でやり、最後はやりきったという気持ちになりました。 (磯原 悠輔)
- 短きより走で1位をめざしていたのが、2位になってしまったのでくやしいです。来年1位になるようにがんばります。たいふうのめでは3人で協力したけれど、ちょっとしたさで白組は負けてしまいました。私が出た種目ではトップになれなかったけれど、最後白組が勝ちました。うれしいけれど、かなしい気持ちもありました。 (長島 光鈴)
- わたしは「たいふうのめ」のリーダーだから、赤組が勝ったときはすごくうれしくて、話し合いや練習をしたかいがあったと思いました。たくさん練習すると勝てるんだなあと思いました。 (野田 遥香)
- 私はダンスが一番楽しかったです。理由はたいこのリズムがみんなそろったからです。ビデオを見たらみんなかがやいていました。 (山崎 咲和)

### ～5年生～

- ついに運動会の日がやってきました。心は不安で満ちていましたが、1人技から大技のタワーのトップまで成功しました。今でも、あれだけ練習してよかったと思っています。来年もソーラン節を成功させたいです。来年の運動会を今から楽しみにしています。 (小岩 汰勢介)
- 二段タワーが終わった時、秋葉君が、つかんでくれました。緊張している心を少し緩めてくれました。そして、自分のできなかった二段タワーができた事がすごく嬉しかったです。運動会が終わった後、組体操を見てお母さんが号泣していたと知り、感動していたと思うと、成功したという気持ちができます。 (大熊 健斗)
- 次は私たちが立ちます。私は緊張して息ができないくらいでした。ちゃんと立って上の人を落とさないようにしないと。そう思っていました。いよいよ、ゆっくり立ち上がります。なんとか、立てました。私の足は怖くてガクガクでした。トップの人が立ってポーズをとるまでの時間が、ほんの10秒くらいなのに、とって長い時間のように思えました。 (江村 萌花)

### ～6年生～

- ソーランの本番は緊張しました。失敗するかもという重圧があったからです。けれど、力を合わせて頑張ってきた友達も同じ気持ちかもと思うと安心して踊ることができました。演技中に検定になかなか受からなかった悔しさもよみがえったけど、最後まで力を出しきれて達成感一杯の運動にできました。 (山本 遥陽)
- 僕は練習に練習を重ねて念願の半纏をもらうことができました。しかし、検定に合格するだけでは、伝統を引き継げないことが分かりました。炎天下の校庭を裸足で立ち、構えの前の姿勢をする。とても暑くてうまく踊れるか不安でした。けれど、歴代の6年生も同じだったはずと思うと気合が入りました。51人全員で声を出し、気持ちのそろった演技ができてうれしかったです。 (小野 翔央和)
- ソーランは、踊りきった時よりも、はっぴをもらった時の方がうれしかったです。多分本番はみんなに努力を見せるため、自分自身が「やりきった。」と満足する場なのではないかと思いました。(筒井 春菜)
- ソーランは、「力強く」「静と動をしっかり」「ひとつひとつついでいねいに」を心がけて毎日いっしょうけんめい練習しました。小学校最後の運動会は協力や努力の大切さの分かった思い出に残る運動会でした。 (樋口 小夏)